

令和8年度 事業計画書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

事業部門

I. 公益目的事業

1. 服飾教育及び色彩知識等に関する色彩検定の実施とそれに関する諸事業

(1) 文部科学省後援「色彩検定」1級～3級及びUC級実施

実施日：1回目 6月 — 2級・3級・UC級
2回目 11月 — 1級・2級・3級・UC級
12月 — 1級2次試験

会場：全国各地

受験申込者数： 1級 2,500名
2級 15,500名
3級 27,000名
UC級 4,500名

(2) 検定試験成績優秀団体及び成績優秀者の表彰

対象：令和8年度「色彩検定」試験1級、2級、3級、UC級の合格者及び団体校に色彩に関するより広く正しい知識を身に付けていただき、その努力をたたえ、習得した能力及び技術に対し、文部科学大臣賞、団体校と個人それぞれに色彩検定協会優秀賞、色彩検定協会奨励賞を令和9年2月に決定し、受賞者には賞状や記念品を送付する。

2. 和裁・洋裁・編物及び色彩の教育に関する研究、講習会の開催

(1) 講師養成講座

対象：検定試験1級取得者
時期：4月～9月
テーマ：色彩関連の講師養成
場所：東日本・西日本
講師：色彩関係者及び大学教授
参加者：各30名

(2) A・F・T色彩セミナー

対象：協会会員・一般
時期：5月 「PCCSを使った配色方法について」
7月 「視覚について」
8月 「色彩心理について」
場所：東日本・西日本
講師：色彩関係者及び大学教授
受講者：各50名

(3) 文部科学省認定「たのしく学ぶ色彩講座・初級コース」(通信教育)

対 象：一般
講 師：色彩関係者
受講者：約150名

(4) カラーイメージコーディネーターセミナー

対 象：一般
時 期：10月～3月
テーマ：色彩関係
場 所：東日本・西日本
講 師：色彩関係者
受講者：各30名

3. 服飾に関する機関紙の発行

機関紙「A・F・Tジャーナル」の発行
発行時期：4月・8月・11月の年3回
部 数：約5,000部(1回分)
色彩検定協会会員、検定試験受験団体校等に無料配布

4. 服飾(和裁・洋裁・編物・色彩)教育の振興・発展のために、日本の服飾教育に関する研究並びに服飾に関する関心度の調査、服飾に関する伝承継承についての調査研究を行う。

- (1) 文部科学省後援色彩検定に対する受験校の状況調査
- (2) 日本の民族衣装である和服に対する種々の研究と後世に伝えるべき特殊技術の指導方法並びに今後外国に向けての紹介
- (3) 日本の服飾教育全般における現在と今後の状況調査
- (4) 服飾に関する日本の伝統的な染色と文化についての調査及び研究

5. その他の目的を達成するために必要な事業

(1) 色彩コーディネーターコンクール(文部科学省後援)

- ・ ファッション部門
- ・ グラフィック部門
- ・ イラストコンクール部門

(グラフィック部門及びイラストコンクール部門は、文部科学省後援「色彩検定」試験の広告宣伝の資材に活用)

対象：協会会員(正会員・講師会員・準会員)・一般

令和8年4月以降に応募要項をHPに掲載、チラシを配布し、1次、2次審査後、文部科学大臣賞、色彩検定協会特別賞、色彩検定協会賞等を決定し、受賞者には賞状、記念品、賞金を送付する。

出品料は無料とする。

(2) 文部科学省後援「色彩検定」宣伝活動

- ① ポスター、ガイドなど製作
- ② HP、雑誌、書籍等に掲載

- ③ 車内吊り広告等
- ④ メルマガの制作、配信
- ⑤ 各種 SNS への配信
- ⑥ 各種イベントへの出展
- ⑦ 色彩検定グッズの制作
- ⑧ WEB 広告出稿

(3) 「伝統文化と色彩研究会」設置

- ・生涯学習の一環として、伝統文化（衣・食・住）の研究、調査

(4) マイページの運用において、色彩検定受検者、講座関連及び通信教育の受講者の管理と整備

II. 収益事業

- 1. 色彩検定関連出版物等の販売
- 2. 和裁の服飾教育機関からの技術資格の申請及び認定
服飾指導者の養成及び技術の向上を目的に各学院、研究所等より申請のあった者に対し証書を発行、資格を認定する。

III. 管理部門

法人管理

- 1. 理事会、総会の開催
- 2. マイページの運用において会員の管理と整備
- 3. 機関紙等の発送